

元号	西暦	初代宮川香山に関するできごと
天保13	1842	1月6日(8日とも)、楽長造の四男として、初代宮川香山(本名虎之助)、京都眞葛ヶ原に生まれる。
嘉永4	1851	長造、眞葛ヶ原に本窯を築く。「眞葛焼」の名称と、「香山」の号を賜る。
安政6	1859	6月1日、後の2代香山となる半之助(兄・長平の子)生まれる。
万延元	1860	3月に父長造が、6月に兄長平が没し、虎之助が家督を継ぐ。
慶応2	1866	幕府から御所に献上する煎茶器大揃の制作を受注する。
明治元	1868	岡山藩筆頭家老伊木忠澄の招きで備前虫明窯(岡山県)に赴き、指導に当たる。
2	1869	備前虫明より京都に戻る。その後薩摩に赴かんとするも、香山の招聘を働きかけていた薩摩藩家老小松帯刀の死去により、実現せず。
3	1870	横浜に移住、野毛山の花屋敷(現・横浜市西老松町)に窯を築く。
4	1871	太田村不二山下(現・横浜市南区庚台)で開窯し、本格的に陶磁器の制作を開始する。
5	1872	製造所を新築し、数十名の書生や村内の少年及び婦女子を雇用。
9	1876	フィラデルフィア万国博覧会で銅牌を受賞。 窯場火災。
10	1877	第1回内国勸業博覧会で龍紋賞牌を受賞。
11	1878	パリ万国博覧会で金牌を受賞。
12	1879	シドニー万国博覧会で特絶一等賞を受賞。
13	1880	メルボルン万国博覧会で三等褒状を受賞。
14	1881	第2回内国勸業博覧会で有功賞牌一等を受賞。 10月6日、後の3代香山となる葛之輔(半之助長男)誕生。
16	1883	アムステルダム万国博覧会で銀牌を受賞。
17	1884	3月8日、後の4代香山となる智之助(半之助次男)誕生。
21	1888	日本美術協会に入会、第四部の委員となる。 バルセロナ万国博覧会で銅牌を受賞。 家督を半之助に譲る。
26	1893	シカゴ・コロンブス万国博覧会で金牌を受賞(半之助は渡米し、西欧の最新陶業を視察)。
29	1896	6月30日、陶芸界から二人目の帝室技藝員となる。
30	1897	横浜美術組合頭取となる。 横浜陶画協会が発足し、名誉会員となる。 12月17日、緑綬褒章を授与される。
31	1898	日本美術院正員となる。
33	1900	パリ万国博覧会で大賞を受賞(半之助渡仏)。 横浜陶画協会、名称を日本陶画協会と改称。知事が会頭、香山が副会頭となる。
36	1903	第5回内国勸業博覧会で出品に加えて、審査官を務める。 井高帰山(*)、香山に招かれ眞葛焼の改良に当たる。
37	1904	セントルイス万国博覧会で最高賞を受賞(半之助は神奈川県出品人副総代として渡米)。
38	1905	リエージュ万国博覧会で大賞を受賞。 三笠ホテルの経営者山本直良、軽井沢で開窯(三笠焼)、指導を依頼された香山は井高帰山を派遣。

元号	西暦	初代宮川香山に関するできごと
明治40	1907	東京勸業博覧会で記念名誉銀牌を受賞。 5月10日、香山夫人エイ死去。 7月頃に大病を発し、翌年6月頃まで病臥。
42	1909	5月より胃病。6月胃潰瘍にて大量の吐血があり、一時意識不明となる。8月、やや快復し、杖にすがって工場を監督。
43	1910	ロンドンで開かれた日英博覧会で名誉大賞を受賞。神奈川県出品人総代として、宮川恒助(香山の娘婿)と共に半之助が渡英。
44	1911	第2回全国窯業品共進会にて名誉賞を受賞。皇后が共進会へ行啓し、その御前にて半之助が陶磁器制作を行う。
大正2	1913	香山、三笠焼復興を指導、森香洲(香山の愛弟子)を軽井沢に派遣、自らも赴く。
3	1914	東京大正博覧会に出品する。 5月22日、原因不明の失明に陥り、8月まで静養。
4	1915	帝室博物館蔵の自作品「褐釉蟹貼付台付鉢」の欠けている蟹の爪を修理する。
5	1916	5月20日、本郷駒込の別邸で、初代香山死去(75歳)。 5月27日、横浜・久保山斎場で神式による葬儀が行われる。
6	1917	5月、半之助、2代香山を襲名する。眞葛陶磁器製造所は合資会社となる。
昭和15	1940	4月19日、2代香山死去(82歳)。長男葛之輔が3代香山を継ぐ。
20	1945	5月29日、横浜大空襲により、3代香山葛之輔死去(64歳)。
34	1959	7月7日、4代香山智之助死去(74歳)。

* 井高煇山… 白磁の研鑽を原点としつつ多彩に陶技を探究した陶芸家。白高麗は「加賀の白魚」と称賛された。白磁の法を眞葛窯に伝えると共に、宮川香山より、染付、青磁、その他を修業した。

主要参考文献

- 『宮川香山 没後100年』NHKプロモーション編. NHKプロモーション. 2016.
- 『宮川香山 虫明焼と明治の陶芸』福富幸編. 大山真季編. 岡山県立美術館. 2016.
- 『眞葛香山 作品集』吉兆庵美術館編. [鎌倉]吉兆庵美術館. 2013.
- 「宮川香山年譜稿」二階堂充著. 『横浜美術館 研究紀要 第3号.』横浜美術館. 2000.
- 『宮川香山と横浜眞葛焼』(横浜美術館叢書7) 二階堂充著. 有隣堂. 2001.